

# 宮古市教育委員会だより

～郷土を誇り次代につなぐひとづくり～

令和3年8月1日号

No.19

発行

宮古市教育委員会

〒027-8501

宮古市宮町一丁目1番30号

☎ 0193-62-2111

## 13人のランナーが聖火をつなぎました

6月17日（木）、宮古市を会場に東京2020オリンピック聖火リレーが行われました。聖火ランナーは、宮古地区合同庁舎を11時44分にスタートし、ゴールのシートピアなあとへ12時17分に到着しました。



聖火リレーがスタート（聖火ランナー 本多美紀さん）

スタート地点では、山口太鼓の会のみなさまによる太鼓演奏で聖火ランナーのスタートを盛り上げていただき、ゴール地点では、鉾ヶ崎小学校



山口太鼓の会による太鼓の演奏



鉾ヶ崎小学校3、4年生による東京五輪音頭

3、4年生による東京五輪音頭の演舞で、ランナーを出迎えました。

聖火リレーの開催にあたっては、交通規制や観客の整理などに多くのボランティアの方々の協力がありました。また、沿道には、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、ランナーを応援する市民のみなさまの姿がありました。

宮古市では特製応援手旗を作成し、ホストタウン相手国である「ナミビア共和国」及び「シンガポール共和国」のPRも行いました。



沿道に手を振る聖火ランナー  
島山桜綺さん



ゴールに到着した聖火ランナー 小林レオさん

宮古市でつながれた聖火は、岩手県内外の多くの市町村を通過し、7月23日、東京2020オリンピック競技大会開会式会場の国立競技場へ届けられました。

📞 問い合わせ 生涯学習課(68-9120)

## 1人1台のタブレットを活用した学習がスタートします

今や社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっており、これからの時代を生きる子どもたちにとって、パソコンやタブレット端末は、社会を生き抜く力を育み、子どもたちの可能性を広げるために必要不可欠なものとなっています。

文部科学省は、児童・生徒1人1台端末と高速通信ネットワークを一体的に整備するGIGAスクール構想を推進しており、宮古市では、1学期までに、小・中学生全員分のタブレット型パソコンの準備が完了し、2学期から本格的に使用を開始します。子どもたちの学びをさらに充実させるためのツールとして、今後各教科の授業や学校生活で活用していきます。

また、新型コロナウイルス感染症の流行などにより対面授業ができなくなった場合には、家庭でタブレット型パソコンを利用して学習を進めることができるよう準備を進めています。



貸与する学習者用タブレット

子どもたちに貸与するタブレット型パソコンはiPadで、キーボード付きのカバーが付属しており、タイピングで文字入力することができます。

### タブレット型パソコンで このような学びが実現できます

- インターネットを用いた情報収集や、写真、動画等による記録
- ビデオ会議アプリを利用した校外の方との交流やインタビュー、遠隔授業
- 双方向型学習支援アプリを活用した協働学習（意見の交流や考えの整理）
- ドリル系のアプリを活用した、一人一人の習熟の程度に応じた個別学習 など



タブレットを使って学習する子どもたち

### GIGAスクール構想の実現に向けて 教職員の研修を行っています

宮古市では、タブレット型パソコンを子どもたちが授業や学校生活で円滑に活用できるよう、教職員向けの研修会を実施しています。

研修会では、端末の基本的な使い方や、授業での効果的な活用方法などについて講義や演習を行い、タブレット型パソコンのよさを取り入れた授業を目指して活発な意見交換が行われました。



教職員の研修会の様子

宮古市では、今後5年間をかけて、段階的にタブレット型パソコンを活用した学習を充実させていきます。

子どもたちが、変化の激しいこれからの社会を生き抜く力を育むため、保護者や関係者の皆様の協力をいただきながらGIGAスクール構想を推進していきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

 **問い合わせ** 学校教育課(68-9118)

## 魅力ある学校をめざして

宮古市では国立教育政策研究所の指定を受け、令和2年度までの2年間、第一中学校区をモデル校として、「魅力ある学校づくり調査研究事業」に取り組みました。



異学年交流による縦割り活動

本事業は、宮古市においても喫緊の課題である不登校児童生徒の新規数抑制を目的とした取組で、児童生徒の声（アンケート）をもとに、教職員が一丸となって、全ての児童・生徒が学校に魅力を感じて登校し続ける学校づくりを目指すものです。

令和2年度までの第一中学校区での取組では、第一中学校、宮古小学校、山口小学校、亀岳小学校の4校が「子どもたちが『まなび合う』『つながり合う』『かがやき合う』学校づくりをめざし



先生方も一丸となって

て」というテーマのもと、各校独自の取組に加え、4校が連携した取組を行うことにより、新規不登校数の減少という成果を収めることができました。

また、学区の教職員が、共通の視点で子どもについて語り合うことにより、小中9年間を見通して子どもたちの成長を支えるという意識が強くなりました。



運動会成功に向けて熱心な話し合い

令和3年度は新たに宮古西中学校区をモデル校に、河南中学校区と第二中学校区を推進校に指定し、魅力ある学校づくりを目指して、引き続き本事業に取り組んでいきます。



生徒の笑顔があふれる学校を目指して

 **問い合わせ** 学校教育課(68-9118)

## 子どもたち一人一人が輝いた運動会・体育祭

市内各小中学校で運動会・体育祭が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、実施の見送りや延期、規模の縮小などがありました。今年度の実施に当たっては、参加種目や開催方法などを各学校で工夫し、全校で一丸となって目指すゴールに向かって練習や準備を進めてきました。

当日は、これまでの練習の成果を存分に発揮し、全力で競技や表現、応援をする子どもたちのいきいきとした姿がたくさん見られました。



心を一つにした力強い表現



チームのバトンをつないで全力ダッシュ

子どもたち一人一人が輝き、大きな充実感・満足感を味わうことができた運動会・体育祭となりました。

今回の行事を通して身に付けた力を自信とし、2学期以降の行事や学習でのますますの成長と活躍が期待されます。

 **問い合わせ** 学校教育課(68-9118)

## 築地の中央公民館を市民交流センターに移転

長い間市民の学びや活動の拠点として親しまれてきた宮古市中央公民館（築地一丁目）が、本年4月から、宮古市市民交流センター（宮町一丁目）に移転しました。

中央公民館は、令和元年台風第19号で建物裏手の土砂崩れにより、建物内部に土砂が流入するなど大きな被害を受けました。それ以降は、利用者が安全に利用できないため閉鎖していました。

中央公民館を主な活動場所としてきた市民サークルや団体は、中央公民館分館や山口公民館などにその活動場所を移しましたが、従来よりも回数などが制限されていました。そこで、もっと活動を広げられるよう、中央公民館の機能を市役所に隣接する市民交流センターに移しました。

宮古駅の近くに位置することから、公共交通による利便性も高まりました。貸室の空き状況は市民交流センターが開設しているインターネットサイトから確認することができます。

また、市内の社会教育関係団体が社会教育活動を行う場合には使用料の免除を受けられます。今後も市民交流センターと一体となって利用促進を図ってまいります。

多目的ホールや会議室のほか、和室、運動スタジオ、音楽スタジオなどがありますので、用途に合わせてどうぞご利用ください。



多目的ホールで行われた社会経験者大学開講式

 **問い合わせ** 市民交流センター・中央公民館 (63-4166)

## 第15回宮古市小学生ドッジボール大会が開催されました

7月3日（土）、第15回宮古市小学生ドッジボール大会が開催されました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年度は、練習内容や大会の開催方法等に制限があるなかでも、元気いっぱいのプレーやチームのみんなて喜び合う姿が随所に見られました。

3・4年生の部と5・6年生の部の2種目にわかれ、予選リーグから決勝トーナメントまで、熱戦が繰り広げられました。



チーム一丸となってプレー

### 【大会結果】

#### ○3・4年生の部

優勝：花輪レジェンド

準優勝：神チーム SOKEI

第3位：崎山コンソメパンチーズ

第3位：もえつきる津軽石

#### ○5・6年生の部

優勝：鍬小チーム

準優勝：燃えろ！花小ファイターズ

第3位：チーム千徳魂

第3位：津小リベンジャーズ



接戦を繰り広げました

 **問い合わせ** 生涯学習課(68-9120)

## 第6回宮古市長杯ナイター野球交流大会開幕

6月1日（火）、第6回宮古市長杯ナイター野球交流大会が宮古運動公園野球場で開幕しました。今年度は8チームが参加します。

市長の始球式後、第1試合が行われました。当日は、気温が低い中での試合となりましたが、両

チームとも、軽快な動きを見せていました。

本大会は、9月の決勝戦まで熱戦が繰り広げられます。



開会式



84夜球団 対 キングスライム

 **問い合わせ** 生涯学習課(68-9120)

## 宮古っこ給食 ～まるごと宮古食材の日～

給食センターでは、市内の生産者、加工業者と連携し地元の食材を使った給食献立に取り組んでいます。

平成27年度から年間12回の計画で「宮古っこ給食～まるごと宮古食材の日～」として、宮古産の食材を多く使用した給食を提供しています。

また、学校給食への理解と地産地消の取組の周知を目的に、公募による市民を対象とした試食会にも取り組み、多くの方に参加していただきました。（現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、市民を対象とした試食会は休止しています。）

これらの取組により、子どもたちは地域の食材を給食で食べることで地元宮古を身近に感じるようになった、生産者の方々も学校給食で使えるよう工夫が行われるようになった、地域の食材を新たに認識することにより、給食での活用を進めることができたなどの成果が得られています。

一方で、給食センターで使用する食材の量が多いことから安定した食材の確保も課題となっています。

また、宮古市を代表する「サケ」「サンマ」の記録的な不漁が季節に合わせた給食献立づくりにも影響しています。

このようななか、昨年度からは、「宮古トラウトサーモン」を積極的に使用した献立が好評を得ています。

給食センターでは、今後も安心、安全でおいしい「宮古っこ給食」を通じて、子どもたちに宮古には良質な食材がたくさんあることを理解してもらえるような取組を進めてまいります。



献立「宮古トラウトサーモン塩焼き」

 **問い合わせ** 教育委員会総務課(68-9114)

## 発掘調査にて奈良時代の土師器が出土！

4月中旬から5月末まで赤前地区の遺跡発掘調査を行いました。調査の結果、約1300年前の奈良時代の<sup>たてあなじゅうきょあと</sup>竪穴住居跡（昔の人の家）が一棟見つかりました。その<sup>たてあなじゅうきょあと</sup>竪穴住居跡内から土師器と呼ばれる土器が多数見つかりました。土師器は、縄文土器と違い、基本的に文様はないですが、薄く硬いこと、整形する際に指で撫でた跡がみられるナデが特徴です。

調査した地点は日当たりがよく、近くを沢が流れており、昔から住みやすい場所だったのかも知れません。

今回の調査で、壺、甕、坏（<sup>つぼ</sup>碗より浅い器）が出土しました。



土師器 出土状況

 **問い合わせ** 埋蔵文化財センター(65-7527)

## 笑いで心の復興を！「みやこ復興寄席」開催

令和2年12月15日（火）と令和3年3月28日（日）、宮古市民文化会館大ホールで「みやこ復興寄席」を開催しました。

12月公演では、三遊亭小遊三さんや笑福亭鶴光さんら6組が出演し、落語やコント、和妻で会場を魅了しました。

大トリは三遊亭小遊三さんで、古典落語の「鮑のし」をおはなしし、終始笑いと拍手に包まれました。

3月公演では、公益社団法人落語芸術協会会長の春風亭昇太さん、副会長の春風亭柳橋さんら7組が出演し、落語やコント、太神楽で会場を魅了しました。

大トリは春風亭昇太さんで、古典落語の「時そば」に自身がアレンジを加え、さらに面白さが倍増しました。

こちらも終始笑いと拍手に包まれました。

令和2年度の「みやこ復興寄席」は、令和元年度の中止分を含めて2回公演しました。笑点メンバーが二人も出演いただき、贅沢な癒しのひと時となりました。



12月公演 三遊亭小遊三さん



3月公演 春風亭昇太さん

 **問い合わせ** 文化課(65-7526)

## 教育委員会議 開催結果

宮古市では、毎月1回以上、教育行政に関して重要な事項を審議する「教育委員会議」を開催しています。

令和2年12月から令和3年6月までの開催状況、主な審議内容等は下記のとおりです。

◆ 12月定例会（12月16日）

令和2年度宮古市一般会計補正予算（第12号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて

◆ 1月定例会（1月28日）

令和2年度宮古市一般会計補正予算（第15号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて

◆ 2月臨時会（2月8日）

令和3年度宮古市教育行政方針に関し議決を求めることについて

◆ 2月定例会（2月24日）

令和2年度宮古市一般会計補正予算（第17号）に関し議決を求めることについて

◆ 3月臨時会（3月4日）

令和3年度宮古市立小・中学校長等の人事の内申に関し議決を求めることについて

◆ 3月臨時会（3月23日）

教育委員会事務局職員等の人事異動に関し議決を求めることについて

◆ 3月定例会（3月26日）

宮古市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則

◆ 4月定例会（4月23日）

宮古市教育支援委員会委員の任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

◆ 5月定例会（5月25日）

令和3年度宮古市一般会計補正予算（第6号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて

◆ 6月定例会（6月29日）

宮古市社会教育委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

教育委員会議は、どなたでも傍聴することができます。開催日、会場は、市ホームページ（[http://www.city.miyako.iwate.jp/kyouiku/kyoikuin\\_kaigi.html](http://www.city.miyako.iwate.jp/kyouiku/kyoikuin_kaigi.html)）でお知らせします。

 **問い合わせ** 教育委員会総務課(68-9114)

## 歴史・文化・海や森の暮らしに触れる ～3館連携企画～

崎山貝塚縄文の森ミュージアム、北上山地民俗資料館、岩手県立水産科学館では、宮古の歴史や文化に触れ、縄文時代から連綿と続く海や森の暮らしを紹介するため、3館連携企画を実施します。

3館共通の案内チラシを観光施設などに配架し、それぞれ特徴の異なる歴史・民俗資料を3館で連携した展示スペースを設けて、並べています。

連携企画に興味・関心をお寄せいただけましたら、ぜひ3館めぐりをお勧めします。

今後も3館連携でイベント開催など様々な取組を行いますので、ぜひご来館ください。



3館連携のPR展示（崎山貝塚縄文の森ミュージアム）

### 宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム

宮古市唯一の国指定史跡である崎山貝塚を紹介するため平成28年に開館したミュージアムでは、崎山貝塚から出土した釣り針などの貴重な出土品のほか、宮古市内の遺跡から出土した巻貝形土器などの縄文人の暮らしや信仰に関する資料も展示しています。また、縄文の森公園では復元した竪穴住居もあります。

当館では勾玉ペンダント作り、弓矢の使用体験、革製キーホルダー作りなどの体験もできます。

【所在地：宮古市崎山1-16-1 電話：65-7526】



プロジェクションマッピング（常設展示室）

### 宮古市北上山地民俗資料館

北上山地のほぼ中央部に位置する川井地区にあり、山村で暮らす人々の知恵や工夫が込められた数多くの民俗資料を展示しています。そのうちの1,345点が国の重要有形民俗文化財に指定されています。また、第2展示室では、南部曲家という伝統的な民家の一部も再現しています。

竹と紐で作る「くめんだけ」という昔の知恵の輪や、樹皮を使ったカゴ作りなどの体験もできます。

【所在地：宮古市川井2-187-1 電話：76-2167】



炉端の再現（第2展示室）

### 岩手県立水産科学館

岩手のワカメ・サケ・アワビなどの増養殖や、昔と現在の漁法と漁具の紹介のほか、三陸域に生息している魚介類を中心に、15基の水槽で展示しています。

夢入り缶（タイムカプセル）作りや、ホタテ貝の絵付け、ワカメの芯抜きなどの体験もできます。

【所在地：宮古市日立浜32-28 電話：63-5353】



魚介類の水槽展示

📞 問い合わせ 文化課(65-7526)